

別紙

令和5年度（2023年度）ヒグマ個体識別手法等検討検証事業委託業務 企画提案書作成要領

1 様式等

- (1) 企画提案書の様式は、別紙の標準様式によるものとしますが、定められた事項が網羅されている範囲内で、様式を変更しても差し支えありません。
- (2) 用紙の規格は、A4判縦長とします。（図面等を表示するためA3折り込みは可）とします。
- (3) 文章を補完するために、写真、イラスト等を使用することができます。
- (4) 記載内容が定められた様式に収まらない場合は、適宜枚数を増やしても差し支えありません。

2 企画提案書作成上の留意事項

企画提案書に記載する項目は、企画提案指示書の「3 委託業務の内容」及び「7 提案にあたっての留意事項」に関する次の事項です。

(1) 事業の実施方針

業務の目的を踏まえ、企画提案の意図や重点を置きたい内容など、提案者としての考えを記載してください。

(2) 実施体制

業務の責任者及び担当者の実務経験、専門知識の有無、資格等及び当該業務を実施するための体制について記入してください。また、連携する外部機関がある場合は、当該機関との関係についても記入してください。

(3) 過去に実施した本業務と類似する業務実績

過去に国・地方公共団体又は民間事業者との間で契約・履行した類似・関連業務の実績を記載してください。なお、コンソーシアムの場合は、代表法人及び構成法人全てに関して記入してください。

(4) 事業の企画内容

事業の企画内容について、次の事項に基づき作成してください。

ア ヒグマ個体識別技術の検討検証

- ・ 実施体制（作業の役割、人数など）
- ・ 活用するデータの内容とその入手方法
- ・ 令和4年度(2022年度)ヒグマ個体識別手法等検討検証事業において、北海道が開発した個体識別システムを活用したヒグマ個体識別手法構築計画
- ・ データ入手及び検証等が困難な場合の対応方策

イ 個体識別精度の検討検証

- ・ 実施体制（作業の役割、人数など）

- ・ 比較対象とする個体識別手法
 - ・ 識別精度向上作業計画
 - ウ 大学等研究機関との連携
 - ・ 連携を想定している大学等研究機関、研究者及び連携内容
 - ・ 参考とする予定の先行研究分野
 - ・ 想定される連携の成果
 - エ ヒグマ生息密度推定に活用できる構成
 - ・ 個体識別技術のヒグマ生息密度推定への活用計画
 - ・ 安価かつ省力でヒグマ生息密度推定を行うための方策
 - ・ 次年度以降に本事業の技術を応用するための方策
- (5) 安全管理体制
- 事業実施において、来場者等に事故が起きた場合の対処方法や、指示・連絡系統及び連絡方法等を記載してください。
- (6) スケジュール
- 契約締結から事業完了まで、項目ごとの準備から実施に係るスケジュールについて詳細に記入してください。

3 企画提案書の提出部数及び方法

- (1) 提出部数
- 提出部数は6部とする。
- (2) 提出方法
- それぞれ別紙様式の表紙をつけてください。企画提案者名は1部のみ記入し、残りの5部には記載しないでください。
- 企画提案者名を記載しない5部については、表紙の企画提案者名の欄を空欄にして提出してください。
- また、企画提案書はコピーが可能な用紙を使用し、丁合後、ホチキスやクロステーブなどで綴じずに、ダブルクリップ等で留めてください。

4 問い合わせ窓口

本事業の企画提案に関する問い合わせ窓口は、「企画提案説明書」の4（1）となります。